

地域連携ICカードの事業者選定について

1 趣旨

平成24年に導入したバス共通ICカード「KURURU」のシステムやIC車載器の老朽化による機器更新及び更なる利便性向上を図るため、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」という。）が開発した地域連携ICカードを令和7年春目途に導入することから、システム事業者を選定するに当たり、指名型プロポーザルを実施する。

2 プロポーザル方式の採用理由及び選定方式

- (1) 本業務は、地域独自の交通系ICカードである「KURURU」から地域連携ICカードへの切り替えを考慮したスケジュール管理やKURURUに準じた仕組みの構築といった、長野地域の特殊事情を考慮した事業者の専門的な知識及び経験から事業の実施についての提案を受け、仕様を決定するプロポーザル方式とする。
- (2) 地域連携ICカードを手掛けられる事業者は、2事業者が該当するとJR東日本の確認ができたことから、選定方式は2事業者を指名する指名型プロポーザル方式とする。

3 業務の概要

- (1) 業務名 長野地域における地域連携ICカードシステム導入業務
- (2) 業務内容
 - ・ ICカードシステムの要件定義の作成
 - ・ ICカードシステムの設計、プログラム開発
 - ・ ICカードシステムの構築
 - ・ 車載機器、サーバ・端末・ネットワーク機器等の設置
 - ・ 導入支援（端末操作研修、運用相談対応）
- (3) 本格稼動時期 令和7年（2025年）3月（予定）
- (4) 業務期間 契約締結の日から令和7年3月末日まで
※契約は、年度ごと2か年に分けて行う。
令和5年度 要件定義、システム設計、プログラム開発
令和6年度 システム構築、導入展開
- (5) 今年度予算額 93,528千円（消費税額及び地方消費税額を含む。）

4 スケジュール（案）

指名通知書の送付	令和5年6月5日（月）
参加表明書の受付	令和5年6月12日（月）まで
企画提案書等の受付	令和5年7月5日（水）まで
プレゼンテーション	令和5年7月18日（火）
結果通知	プレゼンテーション終了後1週間以内
契約手続き	令和5年7月（予定） ※国庫補助金及び関係自治体の補助金の交付決定後に契約を行う

5 選定委員会委員

長野地域における地域連携ICカードシステム導入業務指名型プロポーザル実施要領に基づき、選定委員会を設置する。委員は、長野市公共交通活性化・再生協議会委員の中から、次に掲げる4人の者を充て、長野市保健福祉部長を加えた5人で組織する。

公共交通事業者等	協議会委員	アルピコ交通株式会社 取締役 運輸事業本部長	二條 宏昭
	協議会委員	長電バス株式会社 常務取締役 乗合乗用部長	鈴木 立彦
住民又は公共交通機関の利用者	協議会委員 (副会長)	長野商工会議所副会頭	高見澤 秀茂
長野市	協議会委員	長野市企画政策部長	下平 嗣
	高齢者カード 担当部長	長野市保健福祉部長	白井 一